

第68回 昭和大学学士会総会

日 時 2021年12月4日(土) 13:00～16:40

場 所 昭和大学4号館500号教室

および4号館201・202・301・302・401・402号教室

第68回昭和大学学士会総会

I. 教育講演(ハイブリッド式:Zoomによるライブ配信)

老化の死神を科学する

昭和大学医学部内科学講座(糖尿病・代謝・内分泌内科学部門)教授 山 岸 昌 一……117

唾液腺再生医療の現状

昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門 教授 美 島 健 二……117

介護保険の自立支援と介護予防

昭和大学保健医療学部理学療法学科 教授 佐 藤 満……117

II. 昭和大学学士会学術奨励賞授与

1. Efficacy of Mepolizumab for Long-term Treatment in Patients with Severe Asthma

Department of Medicine, Division of Respiratory Medicine and Allergology,
Showa University School of Medicine

Yoshito MIYATA

The Showa University Journal of Medical Sciences, 2020;32:247-256.

2. Epicardial Adipose Tissue in the Right Atrium Is Associated with Progression of Atrial Fibrillation and Recurrence after Pulmonary Vein Catheter Ablation in Patients with Atrial Fibrillation

Department of Medicine, Division of Cardiology, Showa University School of Medicine

Hiroki TANISAWA

The Showa University Journal of Medical Sciences, 2020;32:11-24.

3. Regulatory Effect of IL-4 on Early Th17 Differentiation from Naive T Cells into Stem Cell Memory Th17 Precursors via Modulation of CD31 and CCR6 Expression

Department of Pharmacology, Toxicology and Therapeutics,
Division of Physiology and Pathology, Showa University School of Pharmacy

Kohei MAEDA

The Showa University Journal of Medical Sciences, 2020;32:135-145.

4. Effect of Implantable Cardioverter-defibrillator Therapy for Ventricular Fibrillation Patients with Out-of-hospital Cardiac Arrest

Department of Medicine, Division of Cardiology, Showa University School of Medicine

Toshihiko GOKAN

The Showa University Journal of Medical Sciences, 2020;32:43-55.

5. Five Prognostic Factors for Readmission in Patients Over 75 Years Old with Worsening Heart Failure
Department of Healthcare and Regulatory Sciences,
Division of Pharmaceutical Regulatory Pharmacy, Showa University School of Pharmacy
Hiroshi SAITO
The Showa University Journal of Medical Sciences, 2020;32:33-42.
6. 婦人科がん周術期患者のリハビリテーションの効果：リハビリテーションの有無による退院時の筋力，運動耐容能，不安，HRQOL の検討
昭和大学大学院保健医療学研究科
黒岩 澄志
昭和学士会雑誌，2020;80:536-545.
7. 低形成骨髄異形成症候群と再生不良性貧血の鑑別に関する免疫組織化学的検討
昭和大学医学部臨床病理診断学講座
阿部 真麻
昭和学士会雑誌，2020;80:40-50.

Ⅲ. 一般演題，学位論文内容発表

1. 昭和大学附属病院の医療従事者における多職種連携業務と労働パフォーマンス-1
昭和大学保健医療学部看護学科 山野 優子・ほか…118
2. 新型コロナウイルス感染症流行下における医療従事者の主観的健康感と労働パフォーマンス-2
昭和大学保健医療学部保健医療学教育学 大久保茂子・ほか…118
3. 災害拠点病院の看護師における災害看護実践に影響する要因
昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻
地域・在宅ケア・マネジメントと医療施設ケア領域 永田 賢司・ほか…118
4. 看護師による食事摂取量目測誤差減少に向けた食事前観察の必要性和記載方法についての検討
昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻
基礎・臨床・統合医療領域 鈴木 康平・ほか…119
5. 昭和大学病院歯科・歯科口腔外科における周術期等口腔機能管理の現状と課題
昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座地域連携歯科学部門 山口 麻子・ほか…119
6. 食道がん患者の術後合併症に対する周術期口腔機能管理の有効性について
昭和大学歯科病院歯科衛生室 大野紗百合・ほか…119
7. 回復期リハビリテーション病院入院患者の口腔管理ニーズの実態
昭和大学歯学部高齢者歯科学講座 原 隆 蔵・ほか…120
8. 昭和大学頭頸部腫瘍センターにおける治療水準と安全性の検討
昭和大学頭頸部腫瘍センター 佐藤 仁・ほか…120
9. 5歳児健診における口腔機能評価の取り組み
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔衛生学 米山 俊之・ほか…120
10. 口腔機能低下症の検査と年齢・性別との関係
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻高齢者歯科学 畑中 幸子・ほか…121
11. 幼児の口腔機能発達不全に影響を及ぼす因子の検討
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻小児成育歯科学 大田 千央・ほか…121
12. 唾液を検体とした口腔健康状態評価法の開発
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯内治療学 滝口涼美麗・ほか…121

13. 造血管腫瘍患者における口腔内細菌検査による経過の予測
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻地域連携歯科学 白倉 香子・ほか…121
14. 補助デバイスが上顎無歯顎インプラント治療における
デジタル印象の精度に及ぼす影響
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯学補綴学 栞 滯那・ほか…121
15. ピエゾセンサーを用いた口腔内装置による睡眠時ブラキシズム検出の
収束的妥当性の検討
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科補綴学 青木 理紗・ほか…122
16. 薬剤性過敏症候群の皮膚に浸潤する CD4 陽性細胞における
HHV-6 細胞受容体マーカー CD134 の発現亢進
昭和大学大学院医学研究科病理系薬理学（医科薬理学分野）専攻 李 殷先・ほか…122
17. 唾液腺腫瘍における腫瘍性筋上皮マーカーの検討
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔病理学 高倉 育子・ほか…122
18. PMA（Phorbol-12-myristate 13-acetate）は PKC α と
転写因子 c-Jun/c-Fos を介して
Nephronectin の遺伝子発現を抑制する
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔生化学 木下 三博・ほか…122
19. 分化転換法を用いたマウス線維芽細胞から唾液腺への誘導
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻顎顔面口腔外科学 堅田 凌悟・ほか…122
20. 口蓋創傷治癒過程における神経堤由来細胞の機能解析
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学 瀧澤 秀臣・ほか…123
21. 骨吸収抑制薬が実験的根尖性歯周炎の進展に及ぼす影響の解析
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯内治療学 池田めぐみ・ほか…123
22. 細胞外酸性化は骨細胞によるスクレロスチンとオステオプロテゲリンの
産生を上昇させる
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻顎顔面口腔外科学 池崎かおり・ほか…123
23. 干渉波電気刺激装置が健常成人の咀嚼嚥下運動に与える影響の検討
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔リハビリテーション医学 飯泉 嘉基・ほか…123
24. エレクトロパラトグラフィを用いた側音化構音の連続発話時の
構音動態の解析
昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔リハビリテーション医学 武井 良子・ほか…124
25. 可逆性脳血管攣縮症候群の一男子例
昭和大学江東豊洲病院こどもセンター 青木康一郎・ほか…124
26. 【取下げ】
27. 自己記入式評価尺度を用いた自閉スペクトラム症（ASD）と注意欠如・多動症（ADHD）の
臨床症状の相違点と類似点
昭和大学大学院医学研究科病理系薬理学（臨床薬理学分野）専攻 田中有咲・ほか…124
28. クルクミンとフェルラ酸によるアミロイド β 誘発性神経細胞傷害への
併用効果について
昭和大学大学院医学研究科病理系薬理学（医科薬理学分野）専攻 大橋 英朗・ほか…124
29. クルクミン誘導体 GT863 のアミロイド β 高分子オリゴマー誘発性細胞傷害
に対する保護作用
昭和大学大学院医学研究科病理系薬理学（医科薬理学分野）専攻 門馬佑太郎・ほか…125
30. 4次元放射線治療システムの開発に向けた至適画像の基礎解析
昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻
生体機能・形態解析領域 宮浦和徳・ほか…125

31. 悪性腫瘍による遠位胆管狭窄に対する金属ステント留置後胆嚢炎の危険因子
昭和大文学士会医学研究科内科系内科学（消化器内科学分野）専攻 野口敏宏・ほか…125
32. Hirschsprung 病腸管の神経節細胞の数と局在についての検討
昭和大文学士会医学研究科病理系臨床病理診断学専攻 福永奈津・ほか…125
33. ケトン性低血糖症ではカルニチン欠乏状態にあるか？
昭和大文学士会医学部小児科学講座（小児内科学部門）山本和也・ほか…125
34. 慢性腎臓病患者における非造影冠動脈インターベンションの有効性，安全性，および長期予後
昭和大文学士会医学研究科生理系生理学（生体調節機能学分野）専攻 柴田恵多・ほか…126
35. 上部尿路感染症患児から分離された基質特異性拡張型βラクタマーゼ（ESBL）産生大腸菌の非カルバペネム系抗菌薬感受性と酵素型に関する検討
昭和大文学士会江東豊洲病院こどもセンター 佐々木郁哉・ほか…126
36. 【取下げ】
37. 小児患者の外来処方せんに対する保険薬局からの疑義照会の内容と傾向
昭和大文学士会薬学部病院薬剤学講座 江島麗・ほか…126
38. アライナー型矯正装置によって発生する矯正力の可視化に関する研究
昭和大文学士会大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学 嶋田百合・ほか…126
39. 超音波診断装置を用いた唇顎口蓋裂における口蓋粘膜の定量的物理性状評価の確立
昭和大文学士会大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学 高風桃子・ほか…126
40. 外科的矯正治療における下顎前歯槽部の形態変化に影響を及ぼす因子の解明
昭和大文学士会大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学 宮澤平・ほか…126
41. 口唇口蓋裂患者におけるアライナー型矯正装置の応用に関する基礎的研究
昭和大文学士会大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学 鈴木涼夕風・ほか…127
42. 上顎大臼歯はどこに位置すべきか
—Cone-beam computed tomography を用いた上顎大臼歯の位置と頬骨下稜形態の関係—
昭和大文学士会大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学 篠原庸祐・ほか…127
43. 後方散乱 X 線を用いた顎顔面構造および元素情報イメージング法
昭和大文学士会大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学 馬場理香・ほか…127
44. 小細胞性網様体尾側領域に存在する Phox2b 陽性ニューロンの電気生理学的・形態学的解析
昭和大文学士会大学院歯学研究科歯学専攻歯科麻酔科学 梶原里紗・ほか…127
45. 閉口筋および開口筋運動ニューロンにおける抑制性シナプス伝達の生後変化
昭和大文学士会大学院歯学研究科歯学専攻口腔リハビリテーション医学 野口毅・ほか…127

運 営 担 当

医学部

生化学講座

法医学講座

内科学講座（リウマチ・膠原病内科学部門）

内科学講座（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）

内科学講座（脳神経内科学部門）

内科学講座（臨床感染症学部門）

外科学講座（心臓血管外科学部門）

脳神経外科学講座

産婦人科学講座

薬学部

基礎医療薬学講座薬物動態学部門

基礎薬学講座医薬化学部門

歯学部

口腔微生物学講座

歯科保存学講座美容歯科学部門

歯科保存学講座総合診療歯科学部門

歯科補綴学講座

口腔外科学講座口腔腫瘍外科学部門

口腔病態診断科学講座

歯科放射線医学部門

スペシャルニーズ口腔医学講座

地域連携歯科学部門

教育講演

1. 老化の死神を科学する

昭和大学医学部内科学講座（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）教授

山岸 昌一

加齢に伴い生体内蛋白質は一様に糖化を受け、臓器障害性の強い終末糖化産物（advanced glycation end products, 以下 AGE）と呼ばれる老化蛋白質を形成するに至る。AGE の生成、蓄積は、加齢、酸化ストレスや慢性炎症、虚血、高血糖下でも亢進することが知られており、老化のプロセスに深く関わるということが明らかにされてきた。事実、AGE 化した蛋白質は三次構造が変化し、その機能が劣化するだけではなく、細胞表面に存在する AGE 受容体 receptor for AGE (RAGE) によって認識され、心血管合併症や骨粗鬆症、アルツハイマー病、癌、慢性腎臓病など加齢に伴ってリスクが上がってくる疾病をひきおこす。また AGE の蓄積は、シワ、シミ、たるみのほか、薄毛、歯周病の原因ともなることも明らかにされてきた。さらに、最近になり食事由来する AGE の過剰摂取が老け顔や老年病の発症、進展リスクを押し進めることも報告され、乳癌、膵臓癌、直腸癌、肝臓癌、骨粗鬆症、心血管病、アルツハイマー病のリスク要因となりうるということが報告されてきている。本講演では、老年徴候や老年病に及ぼす AGE-RAGE 系の役割について述べるとともに、AGE-RAGE 系を標的とした新しい抗加齢医療について言及し、老化の死神 AGE に対峙したライフスタイルのあり方を提唱していく。

2. 唾液腺再生医療の現状

昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門教授

美島 健二

頭頸部癌の放射線治療後の副作用やシェーグレン症候群でみられる唾液分泌障害では、人工唾液や唾液分泌促進薬の応用が治療法としてあげられるが、必ずしも奏功しない重症例が少なからず認められる。これらの症例においては、唾液腺実質組織の萎縮・消失が著しく、失われた腺組織を新たに構築する再

生医療の応用が期待されている。再生医療の主体である細胞治療では多分化能を有する幹細胞の移入が想定されている。実際、放射線照射により唾液腺を損傷した動物モデルにおいて、造血幹細胞 (HSC)、間葉系幹細胞 (MSC) や唾液腺幹細胞の移入により唾液腺機能が回復することが報告されている。

臨床応用の現状としては、HSC や MSC においては既に患者への応用実績が多数認められることから、唾液腺機能障害を有する患者に対しても米国 NIH 主導で、これらの細胞を用いた臨床試験が実施されている。一方、唾液腺幹細胞については、細胞ソースの問題や ex vivo での増幅法の開発など未だ解決すべき課題が残っており未だ臨床応用には至っていない。このような問題を解決すべく、我々は ES 細胞を用いた唾液腺幹細胞誘導法の開発に取り組んできた。その中で、最近、マウス ES 細胞から唾液腺オルガノイドの作出に成功した。当該オルガノイドは、マウスの唾液腺と置換が可能で、生体内においても唾液分泌能を有する機能性唾液腺といえる。本講演では、当該オルガノイドに期待される再生医療や疾患解析への応用性についても言及したいと考えている。

3. 介護保険の自立支援と介護予防

昭和大学保健医療学部理学療法学科教授

佐藤 満

開始から 20 年が経過した我が国の介護保険制度は、それまで家族が担っていた介護の社会サービス化とともに、重度化を防止する自立支援が理念の柱である。高齢人口の増加に伴い、介護保険制度の持続可能性が危ぶまれる中、効率的な介護サービスを推進する観点から、国は「科学的介護」の方針を打ち出し、客観的な効果に裏付けられた介護提供によるサービスの適正化を目指している。そのための取り組みとして、自立支援や介護予防を目的として提供された介護サービス記録のデータベース化がすでに開始されている。そこで大きな課題となっているのは、自立支援の効果を測定する指標に関する総合的な合意が得られていない点である。要介護度や日常生活動作 (ADL) の改善が指標として有力視されているものの、このような「身体的指標」をアウトカムとすると、高齢者は延々と老化に抗い続ける

ことが求められ、QOL を損なう恐れが指摘されている。加齢による老化や退行が長期的に生じる中で、「身体的指標」以外で自立支援介護の効果を示す方法として、家庭での役割の実行状況や近隣・社会との交流の状況、その達成に向けた主体性の状況などが注目されるが、それらを総合的に測定する尺度はない。演者らはこれらを「社会的自立支援介護アウトカム」と名付け、その尺度開発に取り組んでいる。本講演ではその取り組みに関して報告するとともに、高齢者の QOL を重視した「科学的介護」の可能性を考察する。

一般演題、学位論文内容発表

1. 昭和大学附属病院の医療従事者における多職種連携業務と労働パフォーマンス-1

- 1) 昭和大学保健医療学部看護学科
 - 2) 昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座
 - 3) 昭和大学保健医療学部保健医療学教育学
 - 4) 昭和大学保健医療学部作業療法学科
 - 5) 昭和大学保健医療学部理学療法学科
- 山野 優子^{1,2)}、大久保茂子^{2,3)}
 山内 武紀^{1,2)}、榎田めぐみ³⁾
 増山英理子⁴⁾、上條 史子⁵⁾
 大木 友美¹⁾、鈴木 久義⁴⁾
 三村 洋美¹⁾、下司 映一¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

2. 新型コロナウイルス感染症流行下における医療従事者の主観的健康感と労働パフォーマンス-2

- 1) 昭和大学保健医療学部保健医療学教育学
 - 2) 昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座
 - 3) 昭和大学保健医療学部看護学科
 - 4) 昭和大学保健医療学部作業療法学科
 - 5) 昭和大学保健医療学部理学療法学科
- 大久保茂子^{1,2)}、山野 優子^{2,3)}
 山内 武紀^{2,3)}、榎田めぐみ¹⁾
 増山英理子⁴⁾、上條 史子⁵⁾
 大木 友美³⁾、鈴木 久義⁴⁾
 三村 洋美³⁾、下司 映一³⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

3. 災害拠点病院の看護師における災害看護実践に影響する要因

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻地域・在宅ケア・マネジメントと医療施設ケア領域
 - 2) 昭和大学大学院保健医療学研究科
 - 3) 昭和大学横浜市北部病院
 - 4) 昭和大学病院
 - 5) 昭和大学藤が丘病院
 - 6) 昭和大学江東豊洲病院看護部
- 永田 賢司^{1,3)}、安部 聡子²⁾
 下司 映一²⁾、福地本晴美^{2,6)}
 白戸 信行³⁾、鈴木 康平⁴⁾
 田中 伸⁵⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

4. 看護師による食事摂取量目測誤差減少に向けた食事前観察の必要性と記載方法についての検討

- 1) 昭和大文学士会保健医療学研究科保健医療学専攻基礎・臨床・統合医療領域
- 2) 昭和大文学士会保健医療学研究科
- 3) 昭和大文学士会病院
- 4) 昭和大文学士会江東豊洲病院
- 5) 昭和大文学士会横浜市北部病院
- 6) 昭和大文学士会藤が丘病院
 鈴木 康平^{1,3)}, 安部 聡子²⁾
 下司 映一²⁾, 島居 美幸^{2,3)}
 福地本晴美^{2,4)}, 永田 賢司^{2,5)}
 白戸 信行^{2,5)}, 田中 伸^{2,6)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

5. 昭和大文学士会病院歯科・歯科口腔外科における周術期等口腔機能管理の現状と課題

- 1) 昭和大文学士会歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
地域連携歯科学部門
- 2) 昭和大文学士会病院歯科・歯科口腔外科
- 3) 昭和大文学士会大学院保健医療学研究科
- 4) 昭和大文学士会歯科病院歯科衛生室
- 5) 昭和大文学士会歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門
 山口 麻子^{1,2)}, 須田 玲子²⁾
 佐藤あや子^{1,2)}, 柴田 由美^{2,3)}
 大野紗百合⁴⁾, 内海 明美⁵⁾
 弘中 祥司⁵⁾, 丸岡 靖史¹⁾

昭和大文学士会病院歯科・歯科口腔外科（以下当科）は、各診療科から依頼された入院患者を対象とし、周術期等口腔機能管理と口腔健康管理を口腔ケアセンターと共に担っている。口腔環境の改善を図り、人工呼吸器関連肺炎、口腔粘膜炎、骨吸収抑制薬による顎骨壊死などの合併症の予防により、早期の経口摂取の再開、早期退院、地域医療につなげることが目標である。2018年1月に「麻酔科術前外来」発足後は、周術期管理チームの一員として、周術期等口腔機能管理のニーズが増加している。

今回は、当科での2020年度の周術期等口腔機能

管理の現状と課題について報告する。周術期等口腔機能管理実施数の内訳は、全身麻酔手術患者979件（総全身麻酔件数の21.6%）、化学療法・放射線療法患者291件であった。歯科衛生士による周術期等専門的口腔衛生処置実施総数は2,231件、術前患者966件、術後患者697件、化学療法患者558件であった。診療科別依頼患者数は、呼吸器外科、食道外科、整形外科、消化器・一般外科、腎移植センターからの依頼が増加した。COVID-19の影響で手術件数が減少した5月は、当科の介入も減少した。動揺菌および口腔感染源除去目的の抜歯は69件、義歯調整・修理は182件であった。気管内挿管時の動揺菌固定目的で口腔内装置を作成した症例は391件、暫間固定は5件、有害事象は0件であった。今後の課題は、地域医療機関との連携強化、多職種連携および周術期等口腔機能管理の定量的有効性の検証である。

6. 食道がん患者の術後合併症に対する周術期口腔機能管理の有効性について

- 1) 昭和大文学士会歯科病院歯科衛生室
- 2) 昭和大文学士会病院歯科・歯科口腔外科
- 3) 昭和大文学士会大学院保健医療学研究科
- 4) 昭和大文学士会食道がんセンター
 大野紗百合¹⁾, 須田 玲子²⁾
 柴田 由美^{2,3)}, 佐藤あや子²⁾
 山口 麻子²⁾, 大塚 耕司⁴⁾
 五藤 哲⁴⁾, 有吉 朋丈⁴⁾
 山下 剛史⁴⁾, 茂木健太郎⁴⁾
 村上 雅彦⁴⁾

【目的】術後合併症の1つである人工呼吸器関連肺炎（VAP）のうち初期の原因は口腔内細菌によるとの報告があり周術期口腔機能管理の重要性が指摘されている。今回、昭和大文学士会病院の食道がん患者に対する周術期口腔機能管理が術後発熱のリスク減少に有効かどうか診療録を用い後方視的に分析を行った。

【対象および方法】2019年4月～2021年2月までに手術を行い退院した食道がん患者153例を対象とした。患者背景、歯科受診実施状況、術後発熱の有無などについて診療録より調査した。術後発熱の有無は手術日より4日以内の37.5度以上の発熱を

基準とした。手術前の口腔衛生管理の回数が 1 回以下の 65 例 (A 群) と 2 回以上の 88 例 (B 群) に群に分け、口腔衛生管理の回数と術後発熱の有無の関係をカイ 2 乗検定で比較検討した。

【結果】男性 124 例、女性 29 例で平均年齢は 68.1 歳 (± 9.3 歳) であった。手術前に口腔衛生管理を実施した回数は 2 回 (36.6%)、手術後は 1 回 (71.9%) が最も多かった。術後発熱の発症例は、A 群で 27 例 (41.5%)、B 群で 23 例 (26.1%) であり、A 群と比較し、B 群は術後発熱の発症割合が有意に低かった ($P < 0.05$)。

【考察および結論】手術前に 2 回以上の口腔衛生管理を行うことで術後発熱の低減に有効であることが示唆されたため、今後さらなる医科歯科連携システムを構築していく所存である。

7. 回復期リハビリテーション病院入院患者の口腔管理ニーズの実態

- 1) 昭和大学歯学部高齢者歯科学講座
- 2) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門
- 3) 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション科
原 隆 蔵¹⁾、古屋 純一¹⁾
佐藤 裕二¹⁾、桑澤 実希¹⁾
畑中 幸子¹⁾、戸田山直輝¹⁾
赤穂 和樹¹⁾、弘中 祥司²⁾
川手 信行³⁾

【目的】回復期リハビリテーション病院入院患者は高齢者が多く、歯科疾患や口腔機能低下、摂食嚥下障害が生じている場合も多いと推察される。病態の安定した回復期は急性期と異なり集中的な歯科治療を行う好機とも考えられるが、回復期病院入院患者の歯科治療ニーズの実態については不明な点が多い。そこで本研究では、回復期リハビリテーション病院入院患者における口腔管理ニーズの実態を解明することを目的とした。

【方法】対象は某年 1 ~ 12 月までに藤が丘リハビリテーション病院入院中に歯科を受診した患者 77 名とし、診療録を用いた横断調査を行った。

【結果と考察】対象者 77 名 (男性 51 名、女性 26 名) の平均年齢は 74.6 ± 14.2 歳であり、7 割以上

が 65 歳以上の高齢者であった。原疾患は約 5 割が脳血管疾患であった。治療内容は嚥下造影前の口腔管理が約 5 割、次いで口腔ケア、義歯治療であった。機能歯数 (義歯等を含めた歯数) の平均は 25.4 ± 6.2 本、FIM 合計点数は 56.6 ± 27.3 であった。約 7 割が何らかの経口摂取を行っていた。FIM 合計点数を従属変数とした重回帰分析の結果、機能歯数、MNA-SF、栄養摂取法に有意な関連を認めた。以上より、回復期リハビリテーション病院入院患者においては、食事や嚥下訓練に重要な口腔に問題がある場合が多く、適切な医科歯科連携によって口腔管理を行うことで、ADL・QOL の向上を支援できる可能性が示唆された。

8. 昭和大学頭頸部腫瘍センターにおける治療水準と安全性の検討

- 1) 昭和大学頭頸部腫瘍センター
- 2) 昭和大学歯学部口腔外科学講座口腔腫瘍外科学部門
- 3) 昭和大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座
- 4) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔リハビリテーション医学部門
佐藤 仁^{1,2)}、倉澤 侑也^{1,2)}
齊藤 芳郎^{1,2)}、筑田洵一郎^{1,2)}
北嶋 達也^{1,2,3)}、江川 峻哉^{1,2,3)}
池田賢一郎^{1,2,3)}、田下 雄一^{1,4)}
勝田 秀行^{1,2)}、嶋根 俊和^{1,2,3)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

9. 5 歳児健診における口腔機能評価の取り組み

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔衛生学
- 2) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門
米山 俊之^{1,2)}、内海 明美²⁾
石崎 晶子²⁾、弘中 祥司²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

10. 口腔機能低下症の検査と年齢・性別との関係

- ¹⁾ 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻高齢者歯科学
²⁾ 昭和大学歯学部高齢者歯科学講座
畑中 幸子^{1,2)}, 古屋 純一²⁾
佐藤 裕二²⁾, 内田 淑喜^{1,2)}
七田 俊晴²⁾, 大澤淡紅子²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

11. 幼児の口腔機能発達不全に影響を及ぼす因子の検討

- ¹⁾ 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻小児成育歯科学
²⁾ 昭和大学歯学部小児成育歯科学講座
³⁾ 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門
大田 千央^{1,2)}, 石崎 晶子³⁾
内海 明美³⁾, 池田 理沙²⁾
弘中 祥司³⁾, 船津 敬弘²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

12. 唾液を検体とした口腔健康状態評価法の開発

- ¹⁾ 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯内治療学
²⁾ 昭和大学歯学部口腔微生物学講座
³⁾ 昭和大学歯学部歯科保存学講座歯内治療学部門
滝口涼美麗^{1,2,3)}, 森崎 弘史²⁾
鈴木 規元³⁾, 桑田 啓貴²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

13. 造血器腫瘍患者における口腔内細菌検査による経過の予測

- ¹⁾ 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻地域連携歯科学
²⁾ 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
地域連携歯科学部門
³⁾ 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門
⁴⁾ 昭和大学病院血液内科
⁵⁾ 昭和大学病院歯科・歯科口腔外科
⁶⁾ 昭和大学大学院保健医療学研究科
白倉 香子^{1,2)}, 内海 明美³⁾
服部 憲路⁴⁾, 中 牧 剛⁴⁾
佐藤あや子⁵⁾, 山口 麻子⁵⁾
柴田 由美^{5,6)}, 大野かおり²⁾
刑 部 月³⁾, マイヤース三恵²⁾
弘中 祥司³⁾, 丸岡 靖史²⁾

【発表内容掲載論文】

Showa Univ J Med Sci. 2022;34: in press.

14. 補助デバイスが上顎無歯顎インプラント治療におけるデジタル印象の精度に及ぼす影響

- ¹⁾ 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯学補綴学
²⁾ 昭和大学歯学部歯科補綴学講座
枡 滯那^{1,2)}, 田中 晋平²⁾
三 田 稔²⁾, 三好 敬太²⁾
馬場 一美²⁾

【発表内容掲載論文】

Int J Implant Dent. 2021;7:116.

15. ピエゾセンサーを用いた口腔内装置による睡眠時ブラキシズム検出の収束的妥当性の検討

- ¹⁾ 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科補綴学
²⁾ 昭和大学歯学部歯科補綴学講座
青木 理紗^{1,2)}, 高場 雅之²⁾
安部 友佳²⁾, 中里友香理²⁾
小原 大宜²⁾, 前嶋 康平²⁾
馬場 一美²⁾

【発表内容掲載論文】

J Oral Sci. 2022;64:63-68.

16. 薬剤性過敏症症候群の皮膚に浸潤する CD4 陽性細胞における HHV-6 細胞受容体マーカー CD134 の発現亢進

- ¹⁾ 昭和大学大学院医学研究科病理系薬理学（医科薬理学分野）専攻
²⁾ 昭和大学医学部皮膚科学講座
³⁾ 昭和大学医学部薬理学講座（医科薬理学部門）
李 殷先^{1,2,3)}, 小林 香映²⁾
渡辺 秀晃²⁾, 末木 博彦²⁾
木内 祐二³⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

17. 唾液腺腫瘍における腫瘍性筋上皮マーカーの検討

- ¹⁾ 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔病理学
²⁾ 昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門
³⁾ 東京慈恵医科大学歯科学教室
高倉 育子^{1,2,3)}, 鯨岡 聡子²⁾
安原 理佳²⁾, 美島 健二²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

18. PMA (Phorbol-12-myristate 13-acetate) は PKC α と転写因子 c-Jun/c-Fos を介して Nephronectin の遺伝子発現を抑制する

- ¹⁾ 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔生化学
²⁾ 昭和大学歯学部口腔生化学講座
木下 三博^{1,2)}, 山田 篤²⁾
上條竜太郎²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

19. 分化転換法を用いたマウス線維芽細胞から唾液腺への誘導

- ¹⁾ 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻顎顔面口腔外科学
²⁾ 昭和大学歯科病院顎顔面口腔外科
³⁾ 昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門
⁴⁾ 東京慈恵会医科大学歯科学教室
堅田 凌悟^{1,2)}, 高松 弘貴²⁾
高倉 育子^{3,4)}, 田中 準一³⁾
代田 達夫²⁾, 美島 健二³⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

20. 口蓋創傷治癒過程における神経堤由来細胞の機能解析

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学
- 2) 昭和大学歯学部歯科矯正学講座
- 3) 昭和大学歯学部歯科薬理学講座
- 4) 昭和大学薬理科学研究センター
- 5) 昭和大学歯学部口腔生化学講座
- 6) 昭和大学歯学部歯科保存学講座歯内治療学部門
- 7) 昭和大学歯学部歯科補綴学講座
瀧澤 秀臣^{1,2,3,4)}, 唐川亜希子^{3,4)}
茶谷 昌宏^{3,4)}, 須澤 徹夫⁵⁾
坂井 信裕^{3,4)}, 畔津 佑季^{3,4)}
池田めぐみ^{3,4,6)}, 高橋 正皓²⁾
浦野 絵里⁷⁾, 上條竜太郎⁵⁾
榎 宏太郎²⁾, 高見 正道^{3,4)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

21. 骨吸収抑制薬が実験的根尖性歯周炎の進展に及ぼす影響の解析

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯内治療学
- 2) 昭和大学歯学部歯科保存学講座歯内治療学部門
- 3) 昭和大学歯学部歯科薬理学講座
- 4) 昭和大学薬理科学研究センター
- 5) 昭和大学歯学部歯科矯正学講座
池田めぐみ^{1,2,3,4)}, 瀧澤 秀臣^{3,4,5)}
唐川亜希子^{3,4)}, 坂井 信裕^{3,4)}
茶谷 昌宏^{3,4)}, 畔津 佑季^{3,4)}
鈴木 規元²⁾, 高見 正道^{3,4)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

22. 細胞外酸性化は骨細胞によるスクレロシンとオステオプロテゲリンの産生を上昇させる

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻顎顔面口腔外科学
- 2) 昭和大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門
- 3) 昭和大学歯学部口腔生化学講座
池崎かおり^{1,2)}, 宮本 洋一³⁾
吉村健太郎³⁾, 笹 清人³⁾
山田 篤³⁾, 木下 三博³⁾
上條竜太郎³⁾, 代田 達夫²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

23. 干渉波電気刺激装置が健常成人の咀嚼嚥下運動に与える影響の検討

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔リハビリテーション医学
- 2) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔リハビリテーション医学部門
飯泉 嘉基^{1,2)}, 伊原 良明²⁾
高橋 浩二²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

24. エレクトロパラトグラフィを用いた側音化構音の連続発話時の構音動態の解析

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔リハビリテーション医学
- 2) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔リハビリテーション医学部門
- 3) 昭和大学歯科病院リハビリテーション室
- 4) 上伊那生協病院言語聴覚課
武井 良子^{1,2,3)}, 森 紀美江²⁾
山下夕香里²⁾, 山田 紘子³⁾
長谷川和子⁴⁾, 野末 真司²⁾
原田 由香²⁾, 高橋 浩二²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

25. 可逆性脳血管攣縮症候群の一男子例

- 1) 昭和大学江東豊洲病院こどもセンター
- 2) 昭和大学江東豊洲病院放射線診断科
青木康一郎¹⁾, 阿部 祥英¹⁾
長谷川 真²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

26. 【取り下げ】

27. 自己記入式評価尺度を用いた自閉スペクトラム症 (ASD) と注意欠如・多動症 (ADHD) の臨床症状の相違点と類似点

- 1) 昭和大学大学院医学研究科病理系薬理学 (臨床薬理学分野) 専攻
- 2) 昭和大学医学部精神医学講座
- 3) 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター
- 4) 昭和大学病院附属東病院精神神経科
- 5) 昭和大学附属烏山病院精神神経科
- 6) 昭和大学医学部薬理学講座 (臨床薬理学部門)
田中 有咲^{1,2,3)}, 高橋 茜里^{2,4)}
富田 秋沙^{2,4)}, 幾瀬 大介^{2,3)}
西川 晶子^{2,5)}, 内田 直樹⁶⁾
岩波 明^{2,3,4)}

【発表内容掲載論文】

昭和学士会雑誌. 2022;82: 印刷中

28. クルクミンとフェルラ酸によるアミロイドβ誘発性神経細胞傷害への併用効果について

- 1) 昭和大学大学院医学研究科病理系薬理学 (医科薬理学分野) 専攻
- 2) 昭和大学医学部薬理学講座 (医科薬理学部門)
- 3) 昭和大学医学部内科学講座 (脳神経内科学部門)
- 4) 昭和大学薬理科学研究センター
- 5) 昭和大学薬学部基礎医療薬学講座毒物学部門
大橋 英朗^{1,2,3)}, 辻 まゆみ⁴⁾
小口 達敬^{2,4)}, 門馬佑太郎^{2,3)}
野原 哲人^{2,3)}, 井藤 尚仁^{2,3)}
山本 謙^{2,3)}, 永田 未希^{2,5)}
小野賢二郎³⁾, 木内 祐二^{2,4)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

29. クルクミン誘導体 GT863 のアミロイドβ 高分子オリゴマー誘発性細胞傷害に対する保護作用

- 1) 昭和大学大学院医学研究科病理系薬理学（医科薬理学分野）専攻
- 2) 昭和大学医学部薬理学講座（医科薬理学部門）
- 3) 昭和大学医学部内科学講座（脳神経内科学部門）
- 4) 昭和大学薬理科学研究センター
- 5) 昭和大学薬学部基礎医療薬学講座毒物学部門
- 6) 昭和大学歯学部口腔生理学講座
門馬佑太郎^{1,2,3)}, 辻 まゆみ⁴⁾
小口 達敬^{2,4)}, 野原 哲人^{2,3)}
大橋 英朗^{2,3)}, 井藤 尚仁^{2,3)}
山本 謙^{2,3)}, 永田 未希^{2,5)}
中村 史朗⁶⁾, 小野賢二郎³⁾
木内 祐二^{2,3)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

30. 4次元放射線治療システムの開発に向けた至適画像の基礎解析

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻生体機能・形態解析領域
- 2) 昭和大学医学部放射線医学講座（放射線治療学部門）
宮浦 和徳^{1,2)}, 村上 幸三²⁾
渡邊 裕之¹⁾, 伊藤 芳紀²⁾
加賀美芳和²⁾

【発表内容掲載論文】

Showa Univ J Med Sci. 2021;34:11-18.

31. 悪性腫瘍による遠位胆管狭窄に対する金属ステント留置後胆嚢炎の危険因子

- 1) 昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（消化器内科学分野）専攻
- 2) 昭和大学医学部内科学講座（消化器内科学部門）
野口 敏宏^{1,2)}, 石井 優²⁾
三井 佑太²⁾, 宇佐美智乃²⁾
及川 脩²⁾, 西原 成俊²⁾
中谷 溪²⁾, 中山 顕皓²⁾
吉田 仁²⁾

【発表内容掲載論文】

Showa Univ J Med Sci. 2022;34:19-26.

32. Hirschsprung 病腸管の神経節細胞の数と局在についての検討

- 1) 昭和大学大学院医学研究科病理系臨床病理診断学専攻
- 2) 昭和大学横浜市北部病院こどもセンター小児外科
- 3) 昭和大学横浜市北部病院臨床病理診断科
- 4) 昭和大学医学部臨床病理診断学講座
- 5) 昭和大学医学部外科学講座（小児外科学部門）
福永 奈津^{1,2)}, 亀山 香織³⁾
本間まゆみ⁴⁾, 佐々木陽介⁴⁾
根本 哲生³⁾, 渡井 有⁵⁾
矢持 淑子⁴⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

33. ケトン性低血糖症ではカルニチン欠乏状態にあるか？

- 昭和大学医学部小児科学講座（小児内科学部門）
山本 和也, 阿部 祥英

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

34. 慢性腎臓病患者における非造影冠動脈インターベンションの有効性, 安全性, および長期予後

- 1) 昭和大学大学院医学研究科生理系生理学 (生体調節機能学分野) 専攻
- 2) 昭和大学医学部生理学講座 (生体調節機能学部門)
- 3) 昭和大学江東豊洲病院循環器内科
- 4) 昭和大学医学部内科学講座 (循環器内科学部門)

柴田 恵多^{1,2,3)}, 若林 公平³⁾
石永 智之³⁾, 森村 光幸³⁾
相澤 直樹³⁾, 鈴木 敏晃³⁾
古屋 貴宏³⁾, 佐藤 千聡³⁾
西蔵 天人³⁾, 池田 尚子³⁾
菊地 美和³⁾, 新家 俊郎⁴⁾
丹野 郁³⁾, 泉崎 雅彦²⁾

【発表内容掲載論文】

Circ J. 2022;86:787-796.

35. 上部尿路感染症患児から分離された基質特異性拡張型βラクタマーゼ (ESBL) 産生大腸菌の非カルバペネム系抗菌薬感受性と酵素型に関する検討

- 1) 昭和大学江東豊洲病院こどもセンター
- 2) 昭和大学江東豊洲病院
- 3) 昭和大学薬学部臨床薬学講座薬物治療学部門
- 4) 昭和大学大学院保健医療学研究科
- 5) 昭和医療技術専門学校

佐々木郁哉¹⁾, 阿部 祥英¹⁾
大根麻梨奈²⁾, 金澤 建¹⁾
松橋 一彦¹⁾, 里 美貴³⁾
安原 努⁴⁾, 福地 邦彦⁵⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

36. 【取り下げ】

37. 小児患者の外来処方せんに対する保険薬局からの疑義照会の内容と傾向

- 1) 昭和大学薬学部病院薬剤学講座
- 2) 昭和大学江東豊洲病院こどもセンター
江 畠 麗¹⁾, 米澤 夏里¹⁾
磯 崎 遥¹⁾, 阿部 祥英²⁾
田中 克巳¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

38. アライナー型矯正装置によって発生する矯正力の可視化に関する研究

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学
- 2) 昭和大学歯学部歯科矯正学講座
- 3) セイコーホールディングス株式会社
嶋田 百合^{1,2)}, 吉田 宜史³⁾
磯谷 亮介³⁾, 槇 宏太郎²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

39. 超音波診断装置を用いた唇顎口蓋裂における口蓋粘膜の定量的物理性状評価の確立

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学
- 2) 昭和大学歯学部歯科矯正学講座
高風 桃子^{1,2)}, 高橋 正皓²⁾
槇 宏太郎²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

40. 外科的矯正治療における下顎前歯歯槽部の形態変化に影響を及ぼす因子の解明

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学
- 2) 昭和大学歯学部歯科矯正学講座
宮澤 平^{1,2)}, 芳賀 秀郷²⁾
槇 宏太郎²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

41. 口唇口蓋裂患者におけるアライナー型矯正装置の応用に関する基礎的研究

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学
- 2) 昭和大学歯学部歯科矯正学講座
- 3) 昭和大学歯学部歯科保存学講座歯科理工学部門
鈴木涼夕風¹⁾, 中納 治久²⁾
片岡 有³⁾, 佐久間優弥²⁾
槇 宏太郎²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

42. 上顎大臼歯はどこに位置すべきか

—Cone-beam computed tomographyを用いた上顎大臼歯の位置と頬骨下稜形態の関係—

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学
- 2) 昭和大学歯学部歯科矯正学講座
篠原 庸祐^{1,2)}, 高橋 正皓²⁾
槇 宏太郎²⁾

【発表内容掲載論文】

Showa Univ J Med Sci. 2022;34: in press.

43. 後方散乱 X 線を用いた顎顔面構造および元素情報イメージング法

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学
- 2) 昭和大学歯学部歯科矯正学講座
- 3) (株) 日立製作所研究開発グループ
馬場 理香^{1,2,3)}, 高橋満理子²⁾
中納 治久²⁾, 槇 宏太郎²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

44. 小細胞性網様体尾側領域に存在する Phox2b 陽性ニューロンの電気生理学的・形態学的解析

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科麻酔科学
- 2) 昭和大学歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門
- 3) 昭和大学歯学部口腔生理学講座
- 4) 昭和大学医学部生理学講座 (生体調節機能学部門)
梶原 里紗^{1,2)}, 中村 史朗³⁾
池田 啓子³⁾, 鬼丸 洋⁴⁾
中山希世美³⁾, 望月 文子³⁾
壇辻 昌典³⁾, 西村 晶子²⁾
立川 哲史²⁾, 飯島 毅彦²⁾
井上 富雄³⁾

【発表内容掲載論文】

Neurosci Res. 2022;178:41-51.

45. 閉口筋および開口筋運動ニューロンにおける抑制性シナプス伝達の生後変化

- 1) 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔リハビリテーション医学
- 2) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔リハビリテーション医学部門
- 3) 昭和大学歯学部口腔生理学講座
野口 毅^{1,2,3)}, 中村 史朗³⁾
中山希世美³⁾, 望月 文子³⁾
壇辻 昌典³⁾, 伊原 良明²⁾
高橋 浩二²⁾, 井上 富雄³⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定